

1999 神戸学院大学 Green Festival

第141回

5月15日(土)15:00開演

●上野晶子 チェンバロ・リサイタル

第142回

5月22日(土)15:00開演

●神戸学院大学吹奏楽部
第13回サマー・コンサート

第143回

5月29日(土)15:00開演

●大阪フィルハーモニー交響楽団
コンサート

指揮/下野竜也

独奏/秋月孝之(トランペット)

磯貝富治男(トロンボーン)

第144回

5月31日(月)17:00開演

●北京京劇院 公演
『三国志Ⅱ——諸葛亮 空城の計』

第145回

6月12日(土)15:00開演

●長谷川陽子 チェロ・リサイタル
3大B組曲・ソナタ全曲連続演奏 第5回

第146回

7月3日(土)15:00開演

●仲道郁代 ピアノ・リサイタル
ベートーヴェン ピアノ・ソナタ 全曲連続演奏 第4回

●入場無料

会場/神戸学院大学メモリアルホール(9号館)

主催/神戸学院大学

後援/兵庫県・(財)神戸市民文化振興財団

インターネットホームページ <http://www.kobegakuin.ac.jp/>



●お申込方法

- (1) 往復ハガキ(1枚につき1公演・1名のみ入場できます)に①公演日②公演名③住所④氏名⑤電話番号を記入し、お申込みください。返信用にも住所、氏名を。
 - (2) 申込受付期間:各公演の1カ月前~2週間前まで
※学齢期に達していないお子さまの申込および入場はできません。
※申込者多数の場合は抽選になります。
- お申込み・お問い合わせ先
〒651-2180 神戸市西区伊川谷町有瀬518
神戸学院大学グリーンフェスティバル係 電話078-974-1551(代表)
- 交通経路と所要時間
①JR「明石」駅より「神戸学院大学行」バスに乗車(約20分)
②神戸市営地下鉄「伊川谷」駅より「神戸学院大学行」バスに乗車(約15分)
※お車でのご来場は固くお断りいたします。

上野晶子 チェンバロ・リサイタル

- 曲目 ●F.クーブラン……「クラヴサン奏法」中の実例より 前奏曲 第1番～第8番
- ラモー……「クラヴサン組曲」より ラ・リヴリ/ミュースたちの語らい/やさしい訴え
- J.S.バッハ……バルティータ 第4番 二長調 BWV.828
- C.P.E.バッハ……ヴェルテンベルク・ソナタ 第4番 変ロ長調 Wq. 9-4
- ヘンデル……組曲 第3番 二短調 HWV.428

地元出身のすぐれた若いアーティストをご紹介するシリーズのひとつです。東京芸大からニューヨークのジュリアード音楽院で研鑽を積み、3年前カーネギーホールにおけるリサイタル・シリーズに日本人チェンバリストとして最年少で登場し、極めて高い評価を受けて話題となりました。すぐれた技巧と豊かな音楽性を持つ新世代のチェンバリストです。彼女は広範なレパートリーを誇りますが、今回はバロックものに絞り、フランスからクーブランとラモー、ドイツからバッハ親子とヘンデルをご紹介します。これらをお聴き下さると、一応当時のチェンバロ独奏曲に対するご認識がいただけるでしょうし、独仏の比較といったこともひとつのご興味になりましょう。

神戸学院大学吹奏楽部 第13回サマー・コンサート

- 曲目 ●矢部政男……「マーチ・エイプリル・メイ」
- A.O.デイヴィス……「ウェールズの歌組曲」
- A.リード……「第5組曲」他

吹奏楽部は5年連続の出演です。今回のプログラムは第1部がシンフォニックステージとしまして、上記の3曲を。第2部企画ポップステージではお客様もお楽しみいただける内容となっております。詳細につきましては神戸学院大学吹奏楽部までご連絡ください。(内線2606)

大阪フィルハーモニー交響楽団 コンサート

- 曲目 ●モーツァルト……歌劇「ドン・ジョヴァンニ」序曲 K.527
- ネルーダ……トランペット協奏曲 変ホ長調
- ミヨー……トロンボーンと弦楽のための「冬のコンチェルティーノ」作品327
- ベートーヴェン……交響曲 第2番 二長調 作品36

今回はこの楽団の指揮研究員である下野竜也氏がタクトを取ります。定期演奏会など重要な公演の陰の功労者であります。ご自身もしばしば公演の指揮台に立たれ、すばらしい才能のひらめきを見せておられます。メインのベートーヴェンは氏がお選びになった曲で、この曲にふさわしい若々しい表現が期待できます。また、メンバーの首席奏者による協奏曲シリーズは木管楽器を終了し金管楽器へ移って、トランペットとトロンボーンが登場。2曲とも初めて耳にされる方が多いかと思われませんがなかなかの佳曲で、そう再々は演奏されないものだけに、このコンサートは貴重なチャンスでもあります。

北京京劇院 公演

- 出演 ●譚孝會、葉金授、羅長徳、黄彦忠 他
- 演目 ●「三国志」より『諸葛亮 空城の計』

一昨年のグリーンフェスティバルに続いて、「京劇三国志」の第2弾です。

今回は『空城の計』。おなじみ諸葛亮を主役にした出し物です。西城に立てこもった諸葛亮の計略、ついに「泣いて馬謖を斬る」故事の由来になった場面。京劇「三国志」の中でも名場面が連続する屈指の人気曲です。諸葛亮に譚孝會。敵方の司馬懿に黄彦忠。諸葛亮の愛弟子馬謖に羅長徳。そして援軍に駆けつける趙雲に葉金授。北京京劇院の誇る名門出身のスターたちが、京劇の魅力を遺憾なく発揮します。

長谷川陽子 チェロ・リサイタル

- 曲目 ●J.S.バッハ……無伴奏チェロ組曲 第1番 ト長調 BWV.1007
- J.S.バッハ……無伴奏チェロ組曲 第3番 八長調 BWV.1009
- J.S.バッハ……無伴奏チェロ組曲 第6番 二長調 BWV.1012

好評の3大B連続演奏もブラームス、ベートーヴェンを終え、昨秋からバッハに入りましたが、いよいよ無伴奏組曲6曲を残すのみとなり、この春と秋で3曲ずつご紹介して、この大きなシリーズを結びます。申すまでもなく、この6曲はチェロの世界における「旧約聖書」に相当する名曲です。たった1挺のチェロでたとえようもない大きな世界を表現するのはまさに「音楽の父」なる人の業であり、これに挑戦するチェリストには様々な課題が出されています。陽子さんはこれまでバッハばかりをまとめてステージにかけられることは必ずしも多くはなかったようですが、それぞれは折にふれプログラムに入れておられ、連続演奏の締めくくりとして期するものが大きいと思われます。これ迄同様に絶大なるご声援を。

仲道郁代 ピアノ・リサイタル

- 曲目 ●ベートーヴェン……ピアノ・ソナタ 第15番 二長調 作品28「田園」
- ベートーヴェン……ピアノ・ソナタ 第16番 ト長調 作品31-1
- ベートーヴェン……ピアノ・ソナタ 第17番 二短調 作品31-2「テンペスト」
- ベートーヴェン……ピアノ・ソナタ 第18番 変ホ長調 作品31-3

もうひとつの連続演奏はさらに長丁場で、やっと半ばにさしかかりました。今回は作曲家31～2歳ごろの作品で、内容的にも大きな充実度が見られます。目玉は「テンペスト」の副題を持つ作品31-2でしょうか。「第9交響曲」と同じ二短調の調性を採用し、アダージョ楽章も同じく変ロ長調とは何を物語るのでしょう。矛盾対立的要素を含んだ、聴く者に問いかけるような作品です。「田園交響曲」のように有名ではないが同じ副題を与えられた作品28や優美極まりない作品31-1、実に多くのアイディアに満ち、異彩を放つ作品31-3と合わせ、「継続中のベートーヴェンがますます面白くなってきました」と語られる仲道さんが、どのようなアプローチをされるか興味津々です。